

## Ⅱ. 「嶺北（本山町・土佐町）版 生涯活躍のまち」の位置づけとその意義

---

国および高知県が推進する「生涯活躍のまち構想」の取り組みを受けて、本山町及び土佐町の両町は、町民をはじめ、他の地域から訪れる人々が、人と地域とのつながりの中で、生涯にわたって心身ともに健やかに、生きがいを持って活躍できる新たなコミュニティとして、嶺北（本山町・土佐町）地域に「生涯活躍のまち」を創造することとした。

本構想は、本山町及び土佐町の両町が連携して一つの「嶺北（本山町・土佐町）版生涯活躍のまち構想」を策定する。

この構想の目的は、移住・定住施策の一環として、両町が互いの資源や取り組みを共有し、活用し合うことで、嶺北地域の価値をさらに高めながら、「生涯活躍のまち」の取り組みを実施することで、将来にわたって地域をつないでいくための持続可能なしくみの構築を目指すことである。

なお、本来、地域を未来につないでいくためにはシニア層のみならず、あらゆる世代がいきいきと暮らせるまちづくりが求められる。しかし、すべての人がやがて年老いていくことを考えれば、老いてもなお地域で活躍しながら、最後まで自立して生きられるまちづくりが必要不可欠であるため、本構想においてはアクティブシニアを中心とした「生涯活躍のまち」づくりに向けた指針を定めるものである。

また今後、嶺北地域の自治体においてさらなる連携の輪が広がる際には、本構想の柔軟な見直しを行っていくこととする。